

進行課題一覧計27課題(令和2年8月現在)

(1)放射線健康管理に資する線量評価に関する研究

課題名	主任研究者	所属機関
大規模放射線災害に対応できる複数の生物学的指標を組み合わせた線量推定システムの技術基盤構築	盛武 敬	産業医科大学
効果的な個人被ばく線量管理に資する線量の測定と評価に関する実践的研究	内藤 航	産業技術総合研究所
避難行動データの多角的解析に基づく福島原発事故初期の内部被ばく線量推計	栗原 治	量子科学技術研究開発機構
大気拡散シミュレーションによる時間空間放射能データベースを用いた避難行動パターン毎の初期線量評価	鈴木 元	国際医療福祉大学
被ばく線量に影響を及ぼす住家内外の要因に関する研究	吉田 浩子	東北大学
乳歯を用いた福島県在住小児の被ばく線量評価事業	佐々木 啓一	東北大学
人工被覆面の放射能深度分布調査及び空間線量率への影響に関する研究	小林 光	東北大学
市街地の空間線量率の経時変化に対する人為的な影響に関する研究	吉村 和也	日本原子力研究開発機構

参考

(2) 事故に係る心身への健康影響及びそのメカニズムに関する研究

課題名	主任研究者	所属機関
成体期の生活習慣等の低線量放射線発がんリスクにおよぼす影響とメカニズム解明	鈴木 啓司	長崎大学
エンリッチメント環境による小児期連続放射線被ばくの健康影響に対する低減化研究	森岡 孝満	量子科学技術 研究開発機構
放射線による健康リスクと社会不安の低減化を目指した「線量・線量率効果係数」DDREF=2の妥当性の検討	笹谷 めぐみ	広島大学
動物実験を用いた慢性的低線量内部被ばくによる突然変異と発がんの非相関性のメカニズム解明	中島 裕夫	大阪大学
事故後に発見された小児若年者甲状腺疾患のメカニズムに関する研究	鈴木 眞一	福島県立 医科大学
不溶性セシウム粒子による生物影響の解明に向けた分野横断的共同研究	鈴木 正敏	東北大学
動物モデルと数理モデルを用いた放射線発がん線量率効果が生じるメカニズムの解明	今岡 達彦	量子科学技術 研究開発機構
原子力発電所事故後の避難住民・帰還住民における健康寿命に関わる震災関連要因とそのメカニズムについての疫学研究	大平 哲也	福島県立 医科大学
原発事故後10年間における地域住民の二次的健康影響の総括、および今後の医療・介護ニーズの推定に関する研究	坪倉 正治	福島県立 医科大学
ロングリード解析を用いた放射線刻印の同定と福島小児甲状腺癌への応用	光武 範吏	長崎大学

参考

(3) 事故に係るリスクコミュニケーションに関する研究

課題名	主任研究者	所属機関
福島県内外住民における放射線健康不安の変化とゲートキーパー養成を通じた対策に関する研究	川上 憲人	東京大学
リスクコミュニケーション活動の効果評価指標の体系化と効果検証の実践	村上 道夫	福島県立医科大学
放射線イメージ表現を用いた科学的情報発信の有効性	竹西 亜古	兵庫教育大学
3.11以降の放射線関連情報のtwitterによる拡散研究を基にSNS時代に即した、大規模災害時に科学的事実に基づいた情報をリアルタイムに発信していく方策の研究	宇野 賀津子	ルイ・パストゥール医学研究センター
帰還住民を持続的に支援可能なアプリケーションの開発	後藤 あや	福島県立医科大学
メンタルモデル比較を用いた放射線リスク情報の提供と対話方法の提案	小杉 素子	静岡大学
長期的視点に立った放射線に関する科学リテラシー涵養とリスクコミュニケーション人材育成のための小中学校における「目で見える」放射線科学教育の実践研究	松本 義久	東京工業大学
大熊町、富岡町におけるリスクコミュニケーションを通じたリスク認知、メンタルヘルスの経時的変化の評価	高村 昇	長崎大学

参考

(4) 福島県内外での疾病罹患動向の把握に関する調査研究

課題名	主任研究者	所属機関
福島県内外での疾病動向の把握に関する調査研究	祖父江 友孝	大阪大学